

令和3年度 校内研究の概要

I 研究について

(1) 研究主題

「分かる・できる喜び」「考える楽しさ」を実感できるための授業づくり
～対話的な学びを通して～

(2) 研究主題設定の背景

昨年度より『「分かる・できる喜び」「考える楽しさ」を実感できるための授業づくり』を研究主題として、算数科を中心に、「岡山県学習スタンダード～授業5（ファイブ）～」を基に研究に取り組んでいる。今年度は2年次となる。昨年度の成果として、指導者自身が、「授業5（ファイブ）」を意識して1時間の学習の流れを展開することで、児童に学習の見通しをもたせたり、自分で考える時間を十分に確保したりすることにつながった。一方で、授業後の反省や本校の学力学習状況調査の結果から、「自分の考えを表現する力」「考えを伝え合う力」が弱いという課題が上がった。それを踏まえ、今年度は、「対話的な学び」に重点を置き、自分の考えをもったり、考えを伝え合ったりする支援を考えることで、児童の深い学びにつながるようにしたいと考え、この主題を設定した。

(3) 「対話的な学び」を目指す姿

低学年……自分の考えや思いをもち、それを伝えることができる子
中学年……友達の意見と比べて聞き、意見や質問を伝え合うことができる子
高学年……根拠をもとに、考えを構築し、伝え合うことができる子

2 研究の組織



